

第 188 回ペン川柳（お題＝餌・えさ・エサ）令和 1 年 12 月 23 日

世話人：塚田 實（^だ ^だ 拿々）

（*印は今月の互選五句、*は最優秀句）

1. 餌づけなどされてたまるかこのブスに （火酒＝三春） → 1 票
「ブス」を巡って話が盛り上がりました。「ブスは酷いではないか」「ブスは毒（ブス）に通じるか、はたまた醜女（シコメ）か」。作者は女性ですので逆転の発想です。
2. ダメ亭主釣った女房に餌をやり （損得＝細谷） → 2 票
「ダメ亭主」ではなく、「ちょっと良い亭主」じゃないかと言うのが場の大勢。今回は「女房」と「餌」を関連付けた句が多かったですが、時代は変わっていますよ。支え合いが基本だし、場合によっては「女房」の方が強いかも。
3. 餌無しで釣ろうなんてそりゃ無理だ （安兵衛＝山縣） → 1 票
「桜を見る会」の本音だそうです。現在の不透明な状況を、深く洞察した結果の風刺ですね。
4. 餌まいて集まる鳩に媚をうり （酔雅＝西川） → 0 票
鳩はガールフレンドのことでしょうか。酔雅さん独特の粋（いき）の世界ですね。媚をうる作者の顔が思い浮かびます。
5. 風穴を期待の新人餌付けされ （晃二＝安藤） → 2 票
中八が字余りですが、そのままにしました。新鮮な戦力が会社の革新につながると期待していたのに、いつの間にか周りの空気に染まり、丸くなってゆくのはよくあることです。
6. 近頃は釣った魚の餌で泣く （だし＝大野） → 2 票
ちょっと自虐的な川柳に見えますが、いえいえ心配ありません。経済のプロは決して妻を泣かせません。
7. 婚活で撒き餌凝（こ）っても引きはなし （拿々＝塚田） → 3 票
近頃の若い人は、撒き餌の裏を読むので、決して寄ってこないのだそうです。やはり正統派でゆくのが賢明かも。
- * 8. 油断すな釣った魚もエサを食う （零門＝松谷） → 5 票
「油断すな」が効いていますね。同じような句が多い中で、この句が最優秀句に選ばれました。念のため確認したら、奥様の検閲も経ているようです。
9. SNS で餌付けしたのに十六歳 （我々好＝浜田） → 1 票
元句の中八は「餌付け成功でも」でしたが、字余りなので「餌付けしたのに」に変更。未成年は犯罪になります。それにしても最近 SNS による犯罪のニュースが多いのが心配です。

10. ビールを餌に高嶺の花の和牛の贅(ぜい) (井波＝稲宮) → 1票
元句上五は「餌にビール」でしたが、字余りでも「ビールを餌に」とした方が分かり易いとのことで変更しました。松坂牛が思い浮かびます。
11. エンゲルも想定外の犬の餌 (明迷＝八木) → 2票
ペットブームが続いています。作者は、犬の餌代月平均1万5千円という調査もあると紹介しています。「エンゲル係数」で有名なエンゲルの想定外の事態ですね。
12. 星付きも所詮ヒトへの餌やり場 (明迷＝八木) → 0票
星付きはミシュランガイドの星が付いたレストランのことでしょうか。しかし、少し自虐的な川柳だとの評も。
13. 魚釣りは餌まき行為の代名詞 (不言＝岩崎) → 0票
作者の意図は良く理解できますが、もう少しインパクトがあれば、票が入っていたでしょう。
14. エサ求めサルにイノシシ街闊歩 (零門＝松谷) → 1票
最近では環境変化で野生のサルやイノシシが街に現れ、それらを巡る捕り物劇がニュースになっています。もう少しヒネリが欲しいところ。
- * 15. 鷺のエサ銀行印と未亡人 (火酒＝三春) → 2票
「鷺」は「詐欺」に通じます。「詐欺」若しくは「サギ」とすると、余りにもストレートなので、「鷺」のままとしました。この辺の含み、気付きましたか。優秀句に選ばれました。
16. 書き損じ溜まりにたまって山羊の餌 (酔深＝平尾) → 0票
元句の下五は「羊の餌」でした。字余りだし、紙を食べるのは一般的には「山羊」とされているので、変更しました。
17. エサを待つ雛口々の民主主義 (晃二＝安藤) → 0票
口を一杯開けてエサを待つ小鳥の雛たちの姿が思い浮かびます。川柳としては、今一つヒネリが欲しいところです。
18. 春うらら桜を餌にまたソバ屋 (井波＝稲宮) → 0票
「ソバ屋」から「モリとカケ」を思い浮かびましたか。「モリとカケ」とすると余りにも直截的過ぎるので、「ソバ屋」と婉曲表現にしたそうです。「桜を見る会」を風刺しています。
19. 苦勞して釣った魚にも餌をやれ (安兵衛＝山縣) → 1票
作者は「優しい亭主」ですね。「今時ほっとくと痛い目にあいますね」が本音です。愛妻家の作者は、妻を困らせたことはありません。我々への警告です。
- * 20. 餌撒いて鯉は来(く)れども恋は来(こ)ず (拿々＝塚田) → 3票
元句の上五は「餌を撒いて」でしたが、「餌撒いて」に変えました。たまには木久扇風の駄洒落も良いでしょう。作者は、仕事一途人間で、いざ恋を求めても実らぬ恋ばかりでした。優秀句に選ばれました。

- * 21. 疑似餌でしょ？あっさり女 (おんな) に見透かされ (我々好=浜田) → 3 票
最近の女性は男の手練手管をみんな見透かしています。「あっさり」が効いていますね。優秀句に選ばれました。
- 22. 長年の餌の撒き過ぎ安倍一家 (だし=大野) → 0 票
これも「桜を見る会」を風刺したものです。正義感の強い作者は、曖昧な対応を許せないのでしょうか。
- * 23. 高齢者日がな恋しき「餌」を待つ (酔雅=西川) → 4 票
情景を思い浮かべると、少し侘しいですね。作者独特の世界です。2 番目の高得票を得て、優秀句に選ばれました。
- 24. 大人恋疑似餌で誘い誘われて (酔深=平尾) → 2 票
元句の上五は「大人恋い」でしたが、「大人恋」の方が良いとの評で変えました。「誘い誘われ」は「夢芝居」の世界ですね。
- 25. 聖戦も国民は皆餌探し (不言=岩崎) → 2 票
戦争を経験した作者ならではの川柳です。食料の不足する中、国民は何とか生きるすべを求めて奔走していました。
- 26. 原発も餌が無ければ動かない (損得=細谷) → 2 票
最近話題になった関西電力問題を思い浮かべての川柳でしょうか。この騒ぎ未だ全体像が分からないようです。風刺がよく効いていますね。

出席 8 名 = 細谷博 (損得)、稲宮健一 (井波)、松谷隆 (零門)、安藤晃二 (晃二)、平尾富男 (酔深)、三春 (火酒)、八木信男 (明迷)、塚田實 (拿々)

欠席投句 5 名 = 岩崎洋一郎 (不言)、大野ただし (だし)、西川武彦 (酔雅)、浜田道雄 (我々好)、山縣正靖 (安兵衛)

1 月以降のお題： 1 月 27 日 (月) 「燃える・燃やす」
2 月 24 日 (月) 「火」
3 月 23 日 (月) 「水」
4 月 27 日 (月) 「歩く・歩む」
5 月 25 日 (月) 「風」
6 月 22 日 (月) 「傘」